学校番号	３０１３

令和３年度　芸術科音楽

教科	芸術科	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	音楽Ⅲ（教育出版）						
副教材等	プリント等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の４つの分野について幅広く学習します。
・学習の到達度は授業でのワークシートや提出作品・実技テストで評価します。
・生徒の主体的な授業への参加を重視します。

２　学習の到達目標

１・２年次で学習したことを基本として、表現としての「音楽」に発展させることができたか音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a：音楽への関心・意欲・態度	b：音楽表現の創意工夫	c：音楽表現の技能	d：鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	C	d		
前期	旋律の美しさや言葉の響きを感じ取って歌おう	【歌唱】 「vaga luna che inargenti」 「La donna e movile」	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	キーボード弾き語りに挑戦しよう	【器楽】 キーボード弾き語り	○	○	○		a:キーボードの応用的な奏法の特徴に関心を持ち、演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するか表現意図を持っている。 c:キーボード弾き語りのために表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 演奏の聴取
	合唱の楽しさを味わおう	【歌唱】 足跡 鷗	○	○	○		a:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、合唱をする学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能（発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方）を身に付け、協力し合い創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

後期	合唱 鑑賞	「はるまち」 モーツアルト「レクイエム」 モーツァルトの作品に触れる	○	○	○	○	a:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、合唱をする学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能（発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方）を身に付け、協力し合い創造的に表している。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、それらの価値を考えたりして音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	グループアンサンブルに挑戦しよう	自由課題 グループアンサンブル	○	○	○		a:グループアンサンブルの特徴に関心を持ち、演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しどのように演奏するか表現意図を持っている。 c:アンサンブルをするために必要な楽器の基礎的な演奏技能を身につけ創造的に表現している。	

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」の分野はａ，ｂ，ｃの３観点で評価をする。

※　年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。